

市制施行 80 周年記念事業の実施方針

1 趣旨

本市は、平成 32 年（2020 年）4 月 1 日に市制施行 80 周年を迎えます。

本市は、これまで高度経済成長期における急成長などを経ながら、先人の英知や努力のもと発展を続け、そして今、更なる飛躍を遂げようとしています。

市制施行 80 周年を 100 周年も見据えた大きな節目と捉え、市民のまちへの愛着や誇りを一層高めるための取組を行い、それを未来に引き継ぎます。

2 基本方針

(1) 健康医療のまちづくりや中核市移行に向けた取組との連携を図り、市政の更なる成熟を市民に実感していただける取組を実施します。また、大阪万博 50 周年、吹田まつり開催 50 回等と連携した事業を展開します。

(2) 本市の強みを伸ばす取組や、多様な連携による新たな魅力の創造、市民から魅力が広がる仕掛けづくりを行い、シティプロモーションの取組をより一層推進します。

3 実施期間

平成 32 年度（2020 年度）の 1 年間とします。また、平成 31 年度（2019 年度）は、80 周年に向けた機運の醸成や PR を目的としたプレ事業を実施します。

4 推進体制

(1) 市制施行 80 周年記念事業推進本部

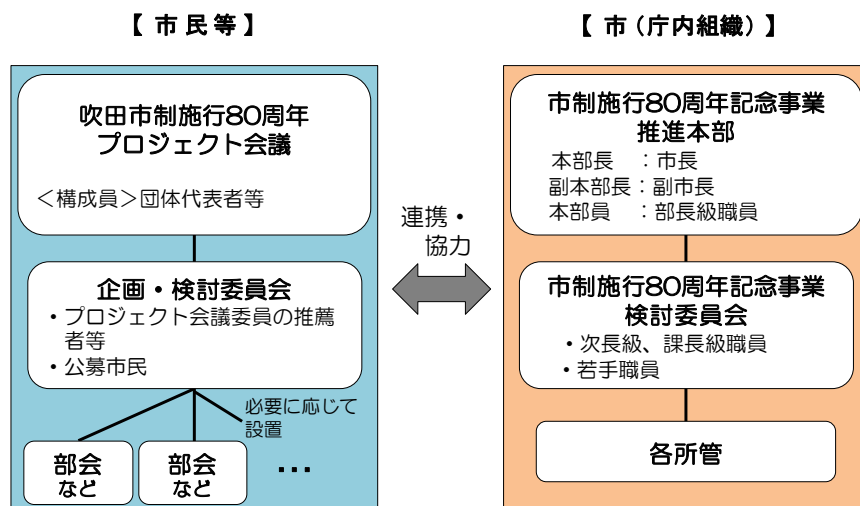
市長・副市長・部長級職員で構成。

…下部組織として、「市制施行 80 周年記念事業検討委員会」（基本は次長級以下の職員で構成。若手職員の意見を取り入れられるような運営を行う）を設置。

(2) 吹田市制施行 80 周年プロジェクト会議（以下、「プロジェクト会議」）

外部委員（市内団体の代表者、公募市民等）で構成。必要に応じて、下部組織を設置。

（推進体制のイメージ）



5 記念事業の枠組み

(1) メイン事業

市制施行 80 周年を記念して実施する主要な取組。

(2) PR 事業

市制施行 80 周年や記念事業について広報や PR 活動を実施する取組。

(3) 関連事業

市で実施する事業等で、80 周年を記念した企画内容等を伴って実施する取組。

6 スケジュール

平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)
実施方針策定	事業計画策定	
		メイン事業 例) 記念式典、各種イベント等
	PR 事業 例) キャッチフレーズ、ロゴマークの制作、グッズ配布等	
	関連事業	

7 記念事業の企画内容及び実施主体

メイン事業及び PR 事業は、市及びプロジェクト会議で連携・協力のもと検討・企画し、事業計画を作成のうえ、企画内容に応じて、市またはプロジェクト会議が実施する。

関連事業は、プロジェクト会議等からの意見を参考にしながら、適宜、市で検討・企画し、実施する。

企画内容（案）については、別紙のとおり。

市制施行 80 周年記念事業の企画内容（案）

	取組の視点	企画内容	実施主体
メイン事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広く市民が参加・共有できるものとする。 ○ 今後も受け継がれるものや、今後の取組につながるものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 記念式典の開催 ② 記念誌の制作 ③ 市民提案事業への支援 (例)・市民団体等が実施するイベントへの補助 ・協賛イベントの周知 ④ シティプロモーションの充実 (例)・プロモーション楽曲の制作 ・動画コンテストの実施 ⑤ 市民が参加できるイベントの実施 (例)・記念コンサートの開催 ・大阪モノレールとの連携によるビアパーティー等の開催 ・吹田検定の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①～③ 市 ④～⑤ 市またはプロジェクト会議
PR事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な手法で積極的に市民への周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① キャッチフレーズ、ロゴマーク等の制作 ② PR ツールや記念グッズ等の製作、配布、販売 (例)・80周年記念デザインのすいたんマスコット、ピンバッジ等 ・職員の名札、統一名刺等 ③ HP、SNS等による広報 ④ その他、様々な媒体による周知、広告 	<ul style="list-style-type: none"> ①～④ 市またはプロジェクト会議
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針に沿って、市制施行 80 周年を記念した企画等を盛り込んだものとする。 	各所管で実施する事業 (適宜、検討)	市